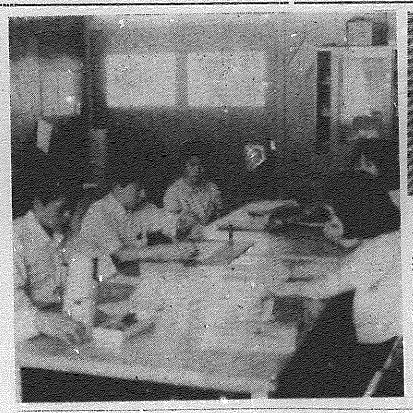
浜松南高新聞
発行所 県立浜松南高校新聞部 静岡県浜松市米津町
印刷 浜松共同印刷株式会社

メガネの 吉田屋 駅前広小路通り TEL53－1188代

代議制を考え直そう



新会長・新役員を迎えた生徒会本部

任期を終えて一安心

感想のべる長田前会長

南校生よ「地味でも努力を」

ことしの一月から活動を始めた前期生徒会本部は、六月いっぱいでその任期を終えた。発足当時は一年生を迎える会などで本部役員の不慣れが目立ち、その後の活動が心配されたが、新学期に入り対面式・クラブ説明会・生徒集会・退約恢正・文化展準備の仕事に取り組み、まずは無事に任期終了に至った。また南高初の女子生徒会長となり、多くの話題を呼んだ長田会長だが「初の女会長ということで、障害はありましたか」の問いに対して「別にありませんでした。やる仕事は同じですから」と、きっぱりと答えた。また、六月八日に行なわれた生徒集会では、百二十人ほどの生徒を前に、風紀問題・本部に対する批判に、堂々と応答していた。

長田久子さん（39HR）が前期生徒会本部を組織し、活動を始めてから六カ月。後期本部への引き継ぎに忙しい生徒会室をたずね、任期終了の感想や前期会長・副会長に、語ってもらった。

―任期を終えた今の感想は？

長田　私自身にもいたらない所がたくさんあった。でも生徒一人一人が、もう一度自分の行動を振り返ってみて欲しい。自分のまわりに問題になる点、疑問に思う点はないだろうか。今の南高生は、たとえ問題があったとしても、それから目をそらしてしまうだろう。自分が納得するまでやってみようとするファイトが無いと思う。よりうるに、事無かれ主義者が多いということ、それが残念です。

小池　本部役員という立場上、自然と人との結び合いが多くなり、人間関係のややこしさを痛感しました。個人的に成長したと思う。仕事は、本来会長の補佐役なのですが、会計の仕事が忙しくてあまり力になれなかったことは、会長にすまなかったと思っています。

―長田さんは、公約として「南高全体の和を考えて、行事の再検討を行う」と述べられましたが、充分できましたか。

長田　私としては全力を尽したつもりです。でも、従来の形式化した定例行事を、意義のあるものにしようと思って改革案を出しても委員会でそれが見とめてもらえなければ、私としてはどうしようもないわけです。

―「これだけはやった」と自信をもって言えることは？

長田　ただ毎日の仕事を終了一杯やったけで、今考えると何もできなかったと思います。でも任期中各委員会を活発にしようと思って努力したつもりです。今、代議制について多くの意見が出ていますが、代議制を頭から否定しないでもう一考え直してもらいたいと思います。

―風紀問題は？

長田　常任委員会が活発になりかけてきた今、このまま任期が終えるのは残念です。

小池　南高のどこにこんな問題があるか、しっかりつかめていなかったこと。本部役員としては少しルーズだったと思う。

―これからの南高生徒会に期待することは？

小池　自分の持っている不満等を再認識して、それをおっくうがらず生徒会に発言すること。

長田　ひとりひとりの力も大切だが、この学校で代議制をとっている以上、委員会の力が強くなるように努力して欲しい。個人の発言より、委員会として発言された方が、さらに大きな力となる。地味でもいいから努力して欲しい。

大役を終えた感想を、以上のように語ってくれた。長田会長が南高に残したもの、それは小さな一歩であったが、これからの南高が踏み出す大きな一歩のための、足掛りとなることだろう。

問題残す　生徒集会

六月八日放課後、生徒集会が緒技場で開かれた。一年生にとっては初めてのことであり、二・三年生においても熱心な生徒が多く、発言者がほとんどいっぱいになるほどであった。

議事は代議委員会の議長によって進められ、最初に本部から文化展・体育大会・研修会等の連絡があった。

次に本部に対する質問があり、活発な意見が出された。まず生徒卿からHRを利用して生徒集会を開いたらどうかという意見、また生徒の多くの意見を取り入れるため、もっと生徒集会を開いてはしいという要望が出された。これについて本部はHRは各クラスで大切にするように学級からいわれており、また生徒の意見を伝えるのは議委員会であるから、もっと代議制を考え直してほしいと答えた。

次に男子の無帽について質問が出された。生徒側の、帽子は無意味だからかぶる必要はないというのに対し、本部はみんなが帽子をかぶらなければ、学校側へ要求することはできないと答えた。その後渡海、スクールバスの横入り、フォークダンスなどについて、活発な質疑応答が続いた。しかし、スクールバス等の部合上、予定より四時間半分で閉会した。

新会長・新役員を迎えた生徒会本部

論説

自分の位置を自覚

先日生徒からの多くの要望に答えて生徒集会が開かれた。生徒と本部役員の間で活発な意見がとりかわされた。はたしてその内容はどうであったろう。

ある生徒が本部を批判した。これに対し本部では「それは総務委員会で決定したことであり総務委員会が各R.Hに連絡してあるはずです」という答えを出した。質問した生徒は「そんなこと知らなかった。本部の伝達方法に問題があるのだ」と後へ引かない。こんな状態が続いて結論は出なかった。原因は総務委員会がしっかり耳R.に伝達していなかったのであるが双方ともそれを知りながら自分の意見をたてようとする。これでは相互の理解と向上どころか険悪である根本の原因がわかっていながらそれを追求しようともせず、一字の違う生徒の会であり、本部はその中心、生徒はその会員。無主義の南高生徒にこれを打開して活気ある学校生活を作り出そうとすることを望むのは無理なのだろうか。

学生紛争が盛んに行われている中で一見平和そうに見える我が校は生徒会員が無関心にはげんでいるのかというと、そうではない。それだから生徒集会を開いたしても形式的なもので何の利益もなかった原因の一つとなるもつ心があるようには見えない。生徒会活動にもっと関心があるようなら生徒会室に入ってみるとよい。生徒会活動についてはここでも述べたが、今年の夏から、半袖の体操服の着用が決まった。夏に長袖では暑い・半袖、長袖などで不揃いであるなどが原因で統一したものである。体操服は、約なしで約々い・袖ぜんぜれ、一年青・二年赤・三年緑となっている。一年生は制服的着用となっているが、二・三年生は色が悪いなどの不満があり、購入した人は少ない。

生徒会員がみんなばらばらで勝手な考えを持ち勝手な行動をしている。その勝手な考えを口に出して話し合い、協調することもなければ意見のくいちがいからの対立も見られない。一つには無関心に近いものでも集団となった時には協力な力を持つことは知っているはずだが。

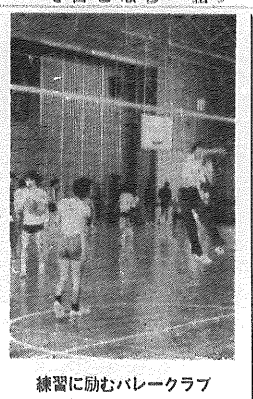
後期生徒会が成立し、竹下新会長を中心として活動をはじめたが、二学期の文化展をはじめとする多くの行事の中で、それに追われて、形式的なものだけをこなすマンネリ化した生徒会にならないようにしたいものである。

それには彼々の前向きの姿勢が必要であり、本部の向上しようとする意志が必要なのだ。このどちらが欠けても現在のこの問題を打ちぶすことは不可能ではないのだろうか。

各クラブ不調目立つ

今後の活躍を期待

▼卓球部
四月二十九日、浜松市体育館で県西部大会個人戦が行なわれた。出場者・結果は次のとおりです。
富田徹夫（33E.R）
一回戦敗北・二回戦小笠・三回戦磐田南・四回戦掛西と対戦、四回戦で敗れた。
石原隆夫（33E.R）
内山幸司（25E.R）
ともに、一回戦・二回戦と勝ち進み、三回戦で敗れた。
市川　誠（33E.R）
鈴木淑夫（23E.R）
松本浩志（24E.R）
三者とも、一回戦は勝ち、二回戦で敗れた。
▼剣道部
六月二十一日、興誠学園で県段審査が行なわれ、一年の合格者（14E.R）が二段に合格した。
▼陸上部
五月十六日、県スポーツ祭が笠井競技場で行なわれた。
◇……女子一〇〇M……◇
第五位富隊子（38E.R）
記録2分34秒4
五月二十三・二十四日、市営グランドでインターハイ西部予選が開かれた。
◇……男子……◇
▽一〇〇M
第一位倉形達義（35E.R）
記録11秒4
▽やり投げ
第一位外山誠一郎（34E.R）
記録53m48
◇……女子……◇
▽砲丸投げ
第二位内村信代（39E.R）
記録10m22
第三位岩井光江（37E.R）
記録9m93
▽円盤投げ
第一位内村信代（39E.R）
記録34m82
第二位岩井光江（37E.R）
記録31m30
▽八〇〇M
第四位富隊子（38E.R）
記録2分33秒9
六月六・七日に笠井競技場でインターハイ県予選が行なわれた。
◇……男子……◇
▽やり投げ
外山誠一郎（34E.R）
記録51m16
◇……女子……◇
▽円盤投げ
第七位内村信代（39E.R）
記録33m76
岩井光江（37E.R）
記録32m0
▽砲丸投げ
内村信代（39E.R）
記録10m73
第二位外山誠一郎（34E.R）
記録53m26
◇……女子円盤投げ……◇
第二位内村信代（39E.R）
記録35m0
六月十八日、名古屋瑞穂競技場で東海予選が行なわれた。
◇……男子……◇
▽やり投げ
外山誠一郎（34E.R）
記録53m48
◇……女子……◇
▽砲丸投げ
内村信代（39E.R）
記録10m22
第三位岩井光江（37E.R）
記録9m93
▽円盤投げ
第一位内村信代（39E.R）
記録34m82
第二位岩井光江（37E.R）
記録31m30
▽八〇〇M
第四位富隊子（38E.R）
記録2分33秒9
六月六・七日に笠井競技場でインターハイ県予選が行なわれた。
◇……男子やり投げ……◇
▽パスケ
八月十五・十六・十七・十八日―国体予選
▽車　球
七月十九日―TSP杯
八月下旬―新入部員歓迎会
▽柔　道
八月九日―県新人大会
その他が行なわれる予定です。各クラブとも勝利を目指して活躍を期待したい。



練習に励むバレークラブ

体操服にも夏が

夏の体操服が今まで、一年を通して同じ服を着ていたというのが現状であったが、今年の夏から、半袖の体操服の着用が決まった。夏に長袖では暑い・半袖、長袖などで不揃いであるなどが原因で統一したものである。体操服は、約なしで約々い・袖ぜんぜれ、一年青・二年赤・三年緑となっている。一年生は制服的着用となっているが、二・三年生は色が悪いなどの不満があり、購入した人は少ない。

風紀問題、正式ルートを追う

女子夏服に不満の声

この集会で特に注目されるのは生徒から代議制に対して、多くの不満が出されていたことである。また、生徒集会に決定権をもたせたら、という声もきかれた。

このあと、長田会長は「生徒会の目的は、会員と本部との間で相互の理解と協調により、より強いつながりをもつことであって、その意味に有意義な集会が開いてあったと思う」と述べた。

今回の生徒集会で、我校の生徒会がもっている多くの問題を発見することができた。この集会で出された多くの意見をもとに、よりよい生徒会を作るために生徒全員が力をいたしたいものである。

風紀問題、三年にめだつ無帽

女子夏服に不満の声

浜松北高において生徒会側が、帽子の自由化を認め、校長に許可を求めている。我南高でも、一般生徒からの帽子・女子の夏服・靴のような意見を持つ者が多い。帽子も一種の学生の飾りともとれる。また三個連帯にも流行というか、いわれる学生が流行を追ってもいたり、校則順守として学校内で結論づけられる問題ではない。」のように言われた。

なお、本部では生徒活動課と風紀委員の話し合いから服装会議への順序を計画している。

生徒諸君より生徒個服・側帽・側靴であることをもう一度自覚してほしい。

教頭先生の意見を聞いてみると「学生が帽子をかぶる習はあったろうが、現在帽子に限らず、その必要性というものを見失いつつあるものが多い。帽子も一種の簡単には、ないのである。日本の道路交通法による自由に人が通れる場所なら道路と、みなされている。南高のグランドはもちろん天竜川の河原から来津の浜に至るまでである。それに現在の自動車学校の状態からみて、練習する場所があまりにも少なすぎるのである。去年の例をみると、違反総数のうち50%以上を無免許運転とスピード違反で占めている。そこで無謀運転を解消する最高の策として免許側を廃止したらどうか。発生する交通事故のうち100%に近いものが免許を持っている者が起こしているのだから。そしてスピード違反対策として、これまたスピード制限をなくす。個個速度があったにしても飛ばす奴は飛ばすのである。このような事をしたとしても現在の交通公害の状態は、変化しないでしょう。かえってよい結果になるかも（真夏の夜の夢）。こうしてみると結局、今のところは個人の自覚にたよるか、ないだろう。▼交通違反とともに交通事故も社会および学校において大きな問題である。交通事故、これは現在、世界の大きな公害の一つである。今、日本の問題になっている多くの公害問題の中でも直接、人命にかかわることである。"三宮発言"の話は、よくご存知のこと思う。現在の小・中学校ではその石像は見あたらなくなったようだが今、彼のまま温事をすれば、かえって先生からおこごとを頂戴する時代なのである。道を歩いている時は、もちろんのこと一瞬で昼寝をしていても車が飛びこんで来る時代なのである。交通事故の原因をみるとなんらかの点で道路交通法違反ということである。▼交通違反が事故につながるケースが非常に多い。家のつごうでバイクに乗る人も自転車通学の人もしかり、道交法を守って事故に会わないようにしよう。

練習に励むバレークラブ

（上）高校時代の川合先生
（下）子安先生

〈先生の高校生時代〉

有意義な高校生時代でした

今回から「こくううさん」に変わって「先生の高校生時代」を連載することになった。第一回目には、子安先生と川合先生に高校時代を語っていただいた。

子安先生（浜西高38年卒）

私が高校生時代一番印象に残っていることは、三年だか一年の夏休みに男子四人女子三人で裾谷の万ヘキャンプへ行ったことです。みんなではんごう炊飯をして、真黒なおすびを作った。本を拾ってきたりしてね。

クラブは英文クラブにはいっていました。夏は風呂等なにくらべものにならないほど有意義な生活でした。

私はでって普通の生徒で、大勢の中には入り込むことができない性格だったので、集団の中から離れた所のほうが、自分自身になれるような気がした。それで登山をすると、落ち着いた気がした（登山をしたのは大学の時から）。

クラブには

集団訓練の成果はどこへ

通路での寝ごこちは？

ことしも例年どおり五月二十五日～六月五日にかけて、二年阿蘇集団訓練が行なわれた。A班（21・22・27H R）B班（23・26・29H R）C班（24・25・26H R）の編成でひどい雨にもあわず、五泊六日を有意義にすごすことができた。

A・B班は京都まで新幹線で「急行天草」に乗り換えたが、C班は都合により名古屋まで普通列車で、「急行阿蘇号」に乗った。

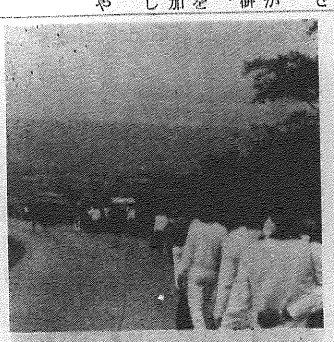
夜になっても車内が明るかったり、騒ぐ者がいたりしてなかなか寝つかれない者が多く見うけられ空気枕を使って寝るとか、床に新聞紙をひいて寝るというような生徒がいた。なかには一睡もせず一人をもっていた生徒もいた。C班の乗った「急行阿蘇号」は、明け方近く線路の故障があったため予定より一時間ほど遅れた。

A・B班は午前十時半ごろ、C班はそれより二時間半ほど遅れ熊本駅へ着き、バスで熊本城・水前寺公園を見学した。

三時半ごろ、緑の草原と雄大な山に囲まれた国立阿蘇青年の家に到着した。ここでの生活の第一日目は、A班がキャンドルのつどいを、B・C班はクラス談話会を行なった。十時半の消灯後は、指研修の疲れのためかぐっすり寝た。

一日目は、野外活動で中岳登山をして草千里に行った。草千里では馬に乗る者が多く見うけられ、スケッチをする者は半数ほどしかいなかった。午後七時半からの研修では、A班はクラス談話会を、B・C班はキャンドルのつどいを行なった。各班とも他の団体が加わり、このつどいをいっそう楽しいものにした。

三日目の午前の研修は、球技や


上　中岳登山の帰り道（阿蘇）
下　金時山頂上にて（御殿場）

フォークダンスなどを行なった。午後の仙酔峡ハイクでは、ロープウェイに乗った中岳の火口をながめた。B班はあいにく雨が降っていたので火口まで行った生徒は少なかった。

四日目は退所の日なので奉仕活動を行なった。所長さんに青年の家での生活のお礼をのべ、十時ごろ恩い出深い阿蘇の山々をあとに青年の家を出た。やまなみハイウェーを通り別府湾へは一時ごろ着いた。ここから大阪港まで船の旅であった。船内は笑い、騒ぐ生徒ばかりかかった。酔う生徒は少なかった。夜、甲板に出られなくなってからは、船内でゲームをする者が多く、H R同士の交流があった。

A班は出発の高校生の団体と乗り合わせ、お互いの学校について話す会話がはずんだ。騒ぎすぎて一般客に迷惑をかけてしまった班もあった。大阪からは新幹線で、浜松には午後一時到着した。

二年生にとって、今回の集団訓練は二度目なので「時間において自由時間が多く有意義であった」などの声が多く聞かれた。五分前精神はもちろんのこと、全体を通しても他の団体に比べすばらしいできだと青年の家の所長さんからおほめのことばをいただいた。毎年先生方を交代にいわれることではあるが、集団訓練のうえでは〝規律正しい生活態度〟がりっぱにできているのに、実生活にはいかされていないようである。集団訓練で身につけたものが、実生活には生かされてこそ、成果があがったといえるだろう。これは最終的には個人の心構えしだいなのだが、この〝規律正しい生活態度〟を実生活に生かしてほしいものだ。

改修された　御殿場で

広大な第二の舞台で、一年生にとって初めての大きな行事である集団訓練が、五月二十八日から六月一日にわたって行なわれた。

昨年は、国立中央青年の家の改修工事と集団訓練が重なったため、球技・A・B班とも男子は、ソフトボール・バスケットボール女子は、バレーボール・卓球行

成立した新本部

南高の統一めざす

昭和四十五年度の後期生徒会本部（竹下会長以下十二人）が七月一日に成立し、すでに活動を始めている。後期生徒会は文化展・体育大会など多くの行事をひかえており、その活躍が期待される。

立合い演説会は六月二十四日に開かれ、投票は翌二十五日であった。今回の立候補者は立吉弘君（三十一H R）竹下清憲君（三十二H R）の二人である。

演説会では昨年のトイレットペーパーにかわりカラーのテープが投げられ、演説に対するやじはたいへんなものであった。やじについて生徒にインタビューしてみたところ、あった方が会をもりたてる。「そうだ」など共感から出たことばは演説者を力づける。また反対に「ひっこめ」など悪意を感じさせるようなことばはやめてほしい。人によってことばがかえる不公平さやいは感じが悪いということであった。

開票結果は次の通りである。

総投票数　二二四票
足立吉弘　三七四票
竹下清憲　七八票
無効投票数　二二票

投票結果からわかるように、投票しなかった生徒約六十人、無効投票が総投票数の一割を占め、こともまた重大・無効投票をした者が例年同様目立った。投票しなかった生徒は、自分に与えられた一票の責任を考えてみるべきではないだろうか。

また立候補者の少ない原因についてインタビューしてみると①受験のために立候補できない②生徒会活動に関心がない③生徒会が不活発なために関心がうすれるなどの声が聞かれた。なんと情けない南高の現状だろうか。どれも少ない立候補者の原因にならないことは明らかであるが、特に③は生徒会の公報活動（生徒会だより等）に問題があるとしてよい。生徒会のことを生徒に知らせるためにはやはり会報は必要である。前期生徒会ではいつのまにかなくなってしまったが、後期ではぜひやってもらいたいものである。いくら紙飛行機になったとしても。

当選直後の竹下会長にインタビューしてみると「みなさんが支持してくださったおかげで当選することができました。とてもうれしい」とのこと。今後の生徒会活動については「生徒会を同じさせるべく多く生徒集会を開きたい。南高を精神的に統一させるために応援の時必要なプラスバンドを作りたい」また生徒会員に対して

新会長竹下君の演説風景

上　竹下会長
下　加藤副会長

後期生徒会本部役員

会長　竹下　清憲　32H R
副会長　加藤　洋子　39H R
書記　鈴木　厚之　13H R
鈴木　白合　22H R
会計　伊藤　良子　37H R
高井久美子　29H R
総務　小楠　勝利　12H R
浅見　幸枝　29H R
厚生　勾坂　勝美　23H R
岡本　考仁　22H R
佐藤　成考　25H R
風紀　小林　弘美　19H R
保健　根木　一恭　21H R
小笠原啓子　27H R
小針　妙子　19H R
規約改正
水島　康浩　22H R
佐藤　亮香　19H R

迷惑な横入り

きき目なし本部の対策

最近、スクール・定期バスの横はいりが目立って多くなってきている。混雑化しつつあるこの横はいりについて、一般生徒・生徒会本部・職員にインタビューを行なった。

▽一般生徒

横はいりされた時、どう思いますか

―頭にくる・迷惑だ・不愉快だ

横はいりした人を、どう思いますか

―悪質である・非常識である

横はいりした人を、注意したことがありますか

―相手が二年生のため注意できない・注意しても聞いてくれない

▽生徒会

本部でも以前から、横はいりについては問題になっていた。すでに本部は四月から五月にかけて、数回風紀・バス通委員会を開き、横はいりをしないよう呼びかけてきた。その結果、対策として各委員が、横はいりを見つけたら注意にたたということに決定したが、それは徹底されていると思えない。

長田会長にインタビューしたところ「二年生の一部の横はいりについては、本人の意識にまかせる注意して効果があがれば、実力行使しかありえない。また、市営バスで決めたバスのドアを前後開くようになったことにも、ひとつ原因があるようだ」と語った。

▽職員

高校生は若者の象徴ともいえる存在であるから、むしろ一般の人たちに席を譲るべきである。また本人が反省すると同時に横はいりを見かけたならば、互いに注意し合い、一般の人たちの模範となるように心がけたいものである。

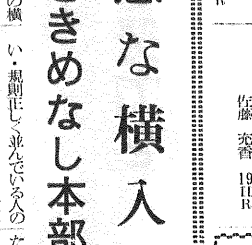
一般客から、わが校はバスが来ると、とたんにわれ先に乗り込むその上、整然としている。などの声が聞かれた。

一般生徒の中には、行動に移さないまでも、注意してやろうという意識すらせず、たいして悪いことでもないという考えの者が、想当数いる。

横はいりの理由を調べると次のようなことがあげられる。

遅刻するため・友だちと同じバスに乗り、同じ場所にすわりたい・早く帰りたい

こく小さな理由で横はいりをし、数多くの生徒に迷惑をかけているということには間に合せられる。



二組のカップル誕生

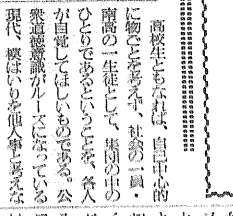
我が南高に片山のはじめ、二組の新婚カップルが誕生した。新婚は今年度本校に赴任してこられた高木・今田の両先生である。この新高校生にも大きな、社会の一員・南高の一生徒として、集団の中のひとりであるということを、各人が自覚してほしいものである。公衆道徳論ルールになっているが現代、模はいりを他人事と考えないで、婦力挺庁すべき。

ガチャガチャポン！

一口なんと700本

チケットで販売をしていた頃の一日の平均消費数は、50～80本であった。これでは、生徒の体力向上の点から考えるとあまりにも少なすぎるというので、自動販売機に変えたものである。その成果は素分にあり、現在では一日に平均700本となった。ところが、それについて①牛乳びんの返還をしない者がいる②ふた飲みはっている③時間が守られていない④一番栄養のある白牛乳があまり飲まれていないなど、多くの問題がでてきている。

この自動販売機について、生徒の意見を聞いてみると「数が少ないので、各階に一台づつ置いてほしい」「牛乳以外のファンタやコーラも入れてほしい」「両替機をつけてもらいたい」等の希望が出されている。



軌道に乗ったフォークダンス

参加方法改められる

一学期は、時期になっていたらのフォークダンスが、参加方法を改められ、男子は踊りたい女子を誘いに行かないで参加してほしい。

新学期になって、生徒会本部はフォークダンスを積極的に奨励する声を聞いて、練習委員会にフォークダンス担当者を、各クラス一名ずつ、計二十四名決定した。その方法として、前期に引き続き、クラスごとに、バス通学に便利のよいカードを割振状にして渡し、練習時に参加できるようにした。

その結果、フォークダンスの練習時間が多くなり、ようやく軌道に乗ってきたようである。

一学期に参加者が少なく、本部もう一度参加するようにと呼びかけていた。生徒会本部の呼びかけに応じて、練習時に参加できるようにした。見学者もしだいに参加してくるようになって、ようやく軌道に乗ってきたようである。

一学期に参加者が少なく、本部もう一度参加するようにと呼びかけていた。生徒会本部の呼びかけに応じて、練習時に参加できるようにした。見学者もしだいに参加してくるようになって、ようやく軌道に乗ってきたようである。

一学期に参加者が少なく、本部もう一度参加するようにと呼びかけていた。生徒会本部の呼びかけに応じて、練習時に参加できるようにした。見学者もしだいに参加してくるようになって、ようやく軌道に乗ってきたようである。

一学期に参加者が少なく、本部もう一度参加するようにと呼びかけていた。生徒会本部の呼びかけに応じて、練習時に参加できるようにした。見学者もしだいに参加してくるようになって、ようやく軌道に乗ってきたようである。

一学期に参加者が少なく、本部もう一度参加するようにと呼びかけていた。生徒会本部の呼びかけに応じて、練習時に参加できるようにした。見学者もしだいに参加してくるようになって、ようやく軌道に乗ってきたようである。

エイ族へ――スウ族より

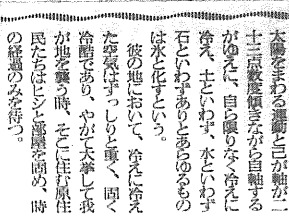
広大な第二の舞台で、一年生にとって初めての大きな行事である集団訓練が、五月二十八日から六月一日にわたって行なわれた。

昨年は、国立中央青年の家の改修工事と集団訓練が重なったため、Bは、工事もほぼ終わったので例年通り御殿場で行なわれることになった。中央青年の家は近代的な建物に変わりつつ、完成は六月十八日。我校は完成前に使わせてもらったわけである。

青年の家に入所するとただちにオリエンテーションが行なわれ、青年の家での過ごし方・諸注意を受けた。

一日目の主な活動は、球技・H R談話会などである。

球技は、A・B班とも男子は、ソフトボール・バスケットボール女子は、バレーボール・卓球行



職員室だより

吾輩の中間テストの噂、英語教の南畑先生のところへ面白い手紙が舞いこんで来た。手すは一読きされたい。

署名　大和の勝之進
あてなし　数千キロメートル。西北西の大陸には雄大の風をまわる運動と己が軸が二十三度傾きながら自転するがゆえに、自ら限りなき冷えに冷え、土といわず、水といわずありとあらゆるものは氷と化すという。

彼の地において、冷えに冷えた空気はずっしりと重く、固く冷酷であり、やがて大挙して我が地を襲う時、そこに住む原住民たちはヒジと膝屋を固め、時の経過のみを待つ。

十二・一・二・三。数えて四、一、日時　五月十八日（月）午後二時半より
場所　運動広場（一時間ミッチリやルコト）
運動　運動広場（お祭り広場）
温泉　二、場所　温泉（雨天延期等）
原　一、戦いの舞踊　ソフトボール
戦後の処理については西長二人に一任。
その他　よきにはからう。
紀元二六〇年五月中の四日
スウ族酋長殿
エイ族酋長代理
早い話が、英語科の先生と数学科の先生とでソフトボールの試合をやろうということであった。やりました。この結果は、十対五という大差で英語科が初めて勝った。たにし、他の教科から応援された先生方の働きで大いなるものがあった。特に英語科への応援としての掛声（武）は、圧巻・野崎・渡瀬の先生方がいた。

吾輩は個人の心構えしだいなのだが、この〝規律正しい生活態度〟を実生活に生かしてほしいものだ。

ぐる年の春であったが、夏であった。秋であったか決着を見ぬまま休戦の状態に入っていた六、そこでエイ族との戦いを、ここに正式に再開することを宣言する考えを我がスー族は先に行なわれた紀元二六〇年五月中の四日スウ族酋長殿

学科の先生とでソフトボールの試合をやろうということであった。やりました。この結果は、十対五という大差で英語科が初めて勝った。たにし、他の教科から応援された先生方の働きで大いなるものがあった。特に英語科への応援としての掛声（武）は、圧巻・野崎・渡瀬の先生方がいた。

―シューズ・チェーン―
ワシントン
ワシントン靴店　田町有楽街　㊿ 4913
ライオン靴店　鍛冶町　㊿ 2022
ニューワシントン　鍛冶町　㊿ 1922・1929
マルサ店　㈱デパート内　㊿ 1815

《靴の専門店》
当学校女子靴指定店
流行とセンスの
アツミヤへどうぞ
アツミヤ靴店
遠鉄名店ビル南　電話 53―0645

RKオーディオセンター
コンポーネントステレオ専門店
旭町49（法雲寺前）
代54―1466

RKソニーショップ
オールソニー商品
テジタルラジオ
カセットテープレコーダー
カラーテレビ専門店

RK商会
工具UHFコンバーターアンテナハムパーフ具門店
田町13―2（第一証券前）
代 54―7378

夏休みには
ご家族そろって
日本交通公社
ご出発の安心感　お帰りの満足感
電話㊿ 2111

メガネで生かそう
あなたの魅力！
至誠堂眼鏡店
浜松・伝馬町角・会議所前　TEL 52―6219

S－2,75
⌀60
光学用レンジ
CR―39
オルマ1000
CORRECTEUR RATIONNEL PONCTUEL
CORRECTED CURVE LENS
Télor Orma 1000
EN MATIERE ORGANIQUE
HARDPLASTIC
PARIS
PRINTED IN FRANCE
<オルマ1000>は軽い軽いプラスチックレンズです。しかもガラスレンズより衝撃に2、3倍も強くわれません。くもりにくく眼に有益な紫外線も吸収。70年代の新しい高性能レンズと好評です。
足立メガネ
浜松紺屋町連尺地下道北口
TEL52―5229